

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (5)

(A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

米国は 11 月 6 日が中間選挙(midterms)であるが、今回はニュースとしては少し前の次の例で語釈をしてみる。日常的なニュースは、時とともに次々と忘れ去られてもいく。一般の人の記憶が薄れる頃の後追いでの確認は、その後も何かと流れが見通せる。今回、末尾で演習形式にしたものを提示し、これまで扱った事項の確認もしてみたい。

- ① If President Obama (who got nowhere with North Korea and would have had to go to war with millions of people being killed) had gotten along with North Korea and made the initial steps toward a deal that I have, the Fake News would have named him a national hero ! (June 18, 2018)

▲トランプ大統領の痛烈なツイートである。もしも Obama 大統領が北朝鮮と関わり、まずは私と同じような取引をしていたなら、偽メディアは彼を国民的英雄にしたらろう。しかし彼は北朝鮮問題ではまったく何もできず、何百万人もが犠牲となる戦争も起こっていたであろうという内容である。このあたりとも関連し最近、Trump 大統領が極秘に考えていたとされる北朝鮮への攻撃計画等々の書かれた恐怖の暴露本 *Fear : Trump in the White House* (Bob Woodward 著) がベストセラーにもなり話題になっている。これはもちろん中間選挙で与党共和党にはマイナスの材料となる。

このツイートは 1 文の中で現実的<be>の世界の叙実法と仮想的<seem>の世界の叙想法(仮定法)が交差するが、こういう文に慣れるとよい。音声的には文頭の If は弱く発音すべきである。日本人はとにかく文頭の語を強く発音する傾向がある。話される場合の理解法上もこの類の叙法(mode)は重要である。文中の下線(一重線)部 got nowhere (成功しなかった)と 3 行目の have (これは have made の made が省略)の 2 つが叙実法で、他は叙想法過去完了形である (made は had made の had が省略)。

太線語 initial の語根部は it である。it は to go の意味で initial は形態素{in (= in) + itial (= to go)}である。un-Basic 語の同系語 itinerary (旅程) の中にも語根 it が組み込まれているし、exit, visit, ambition (野心) などこの語根をもっている。exit は{ex (= out) + it (= to go)}、visit は{vis (= to see) + it (= to go)}、ambition は{amb(i) (= walk) + it (= to go) + ion}ということである。

もう 1 つの太線語 deal はビジネスマンの Trump 大統領が好んで用いる語で「取引」であるが元来は「分けること」の意味で、トランプカードでいえば配られた「持ち札」である。カタカナ語で「ディーラー」とも言うし、ニューディール政策(1930 年代の大恐慌の時代に Roosevelt 米大統領がとった経済政策)なども想起すればよかろう。日本語にある膨大な数のカタカナ語のこの分野での効用についてはすでに言った。

文中の下線(二重下線)の Basic 語 **with** は付帯状況(attendant circumstances)を導くキーワードで、with millions of people being killed 「何百万人という人が殺されるという状況で」とされている。日本人の不得意な付帯状況を描写する with や without によるこの種の表現法にどうしても慣れる必要がある。

なお、上の①のツイート 2 行目の下線部 had gotten の gotten などの末尾の -ten の音声に関して触れておく。-ten や -ton は[tɒ]と声門閉鎖音化(glottal stop)するのはきわめ

て自然で bitten, Clinton, etc. 無数に例はある。しかし、筆者がよく例に出すのであるが、Boston 等々は必ず [tən] であり声門閉鎖音化はしないので注意を要する。

② Henry McMaster has done a great job as Governor of South Carolina. The State is BOOMING, with jobs and new industry setting records. He is tough on Crime and Strong on Borders, Healthcare, the Military and our great Vets. Henry has my full and complete Endorsement! #MAGA (June 21, 2018)

▲サウスカロライナ州の知事 Henry McMaster を Trump 大統領は高く評価し、雇用も新しい産業も上々で記録的なものになっていると言っている。さらにこの知事は犯罪、国境問題、ヘルスケア、軍隊、退役軍人の問題にもよく理解を示していて、まったくの適任者だ! Make America Great Again. (MAGA) と言っている内容である。

最初の太線の Basic 語 **with** はまさに上の①で見た付帯状況例で、英語では頻出する。with (語尾の th は有声音 [ð] のみならず無声音 [θ] ともなる) は何か「ベッタリ張り付く」ような感じの語で、これは Basic 語 **wide**、un-Basic 語 width (幅) とともに根元ではつながっている同系 (paronymic) で、発生源としての印欧祖語の語根 PIE etymon は /WI/ がその音形 (音素形) とされている。この with の原義 (root sense) は「分割した広がりのこと」である。すなわち空間の縦と横 (縦×横) のやや面積的な幅 (広がり) の感じととらえればよい。同系ではないが似た意味の空間詞に on があるが、これが動的にワッと広がり張り付く感じであるのに対し、with は静的な張り付きの感じがする。

「分割した広がり」を意味するこの with, wide の同系語に、プラス α Basic 語 **widow** (未亡人) がある。一方、歴史的には [w] も [v] も同一音素 (phoneme) の異音 (allophone) で、ラテン系の Basic 語 **division** とともに同系である。[w]→[v] の音変異の例は本連載の前回(4)でも見た〔さらには拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(132)参照〕。

次の太線の Basic 語 **industry** は「産業」とともに「勤勉」の意味ともなり、それぞれ形容詞形は industrial, industrious であるが、「勤勉」の意味が先にあった。PIE etymon の音形・音素形は /STRU/ とされ「築くこと、建てること」が原義で、同系語に Basic 語 **structure, destruction, instrument** がある〔他の例は同上拙著、第二部、例(98)参照〕。

次の太線語 **vets** (退役軍人) は **veterans** の略式形である。いわゆるカタカナ語の「ベテラン」ということになるが、英語での意味とは異なる。英語の **veteran** は「年老いていること (old)」が原義である。ラテン語を経由して英語となったが、たとえばラテン系ロマンス言語スペイン語で **viejo** (男性形)、**vieja** (女性形) は old の意味である。

最後の太線の Basic 語 **complete** は PIE etymon の /PELs/ からとされ、「満たすこと」が原義である。印欧祖語からゲルマン語系への派生で起こった子音変化の法則 (グリムの法則 : **Grimm's law**) から [p]→[f] となった **full** も同系である。語中で子音 [pl] と響くプラス α Basic 語 **supply**、un-Basic 語 **plenty, accomplish** などが同系となる〔他の例も含めた同系語の一括提示は同上拙著、第二部、例(113)参照〕。末尾の **endorsement** < **endorse** は本連載(2)の①ですで見たとす。なお、Basic 語をよりどころに段落テキスト文の読み取り要領などは同上拙著では、章を改め第三部で扱っている。

(演習) 本連載 (1) ~ (5) より

これまで本連載(1)~(5)で見た例のいくつかを確認の意味を含め、演習の形にしてみた (すべて文中で扱ったもので小手調べとなる)。A)、B)それぞれ確認もしやすいよう配慮し、扱った順序で提示している。**Basic 語を核にした音感と語感、そしてその意味**であ

A) 次の①~⑦の語（イタリック体はプラス α Basic 語、標準体は un-Basic 語）と同系（paronymic）の Basic 語は下の(a)~(g)のうちどれか。

(a) **act** (b) **attention** (c) **digestion** (d) **flat** (e) **garden** (f) **receipt**
(g) **star**

① **complete** ② **effect** ③ **fertile** ④ **have** ⑤ **important**
⑥ **lift** ⑦ **living** ⑧ *lord* ⑨ **minute** ⑩ *saint*
⑪ *service* ⑫ **slip** ⑬ **structure** ⑭ **trade** ⑮ **while**

1) site : (**s**) 2) just : (**j**) 3) sleeve : (**s**)
4) harmonica : (**h**) 5) wrestling : (**w**) 6) accomplish : (**c**)

① (d)	② (g)	③ (b)	④ (e)	⑤ (f)	⑥ (a)	⑦ (c)
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(a) ⑪	(b) ④	(c) ⑮	(d) ⑤	(e) ⑥
(f) ②	(g) ⑧	(h) ⑦	(i) ⑨	(j) ⑭
(k) ⑫	(l) ③	(m) ⑩	(n) ⑬	(o) ①

C) 〔正解例〕

1) seat	2) judge	3) slip	4) harmony	5) wire	6) complete
---------	----------	---------	------------	---------	-------------

＜注＞ それぞれ本連載での解説参照 — 1)は(1)の③、2)は(1)の③、3)は(4)の①、4)は(4)の②、5)は(4)の③、6)は(5)の②。